



機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和 2 年 11 月 実績

November 2020



令和 3 年 1 月

January 2021

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics
Economic and Social Research Institute
Cabinet Office, Government of Japan

目 次

2020（令和2）年11月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

（ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

（ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。
https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

2020（令和2）年11月の機械受注動向

(1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、10月9.7%増の後、11月は1.5%減となった。

需要者別にみると、民需は、10月5.7%増の後、11月は7.0%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、10月17.1%増の後、11月は1.5%増となった。内訳をみると製造業が2.4%減、非製造業（船舶・電力を除く）が5.6%増であった。

一方、官公需は、10月22.7%減の後、11月は国家公務、「その他官公需」で減少したものの、防衛省、地方公務等で増加したことから、0.4%増となった。

また、外需は、10月20.7%増の後、11月は航空機、船舶で減少したものの、電子・通信機械、産業機械等で増加したことから、5.9%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、10月6.9%増の後、11月は電子・通信機械、鉄道車両で増加したものの、道路車両、重電機等で減少したことから、6.6%減となった。

(2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、10月11.4%増の後、11月は2.4%減となった。

11月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品（142.4%増）、金属製品（34.9%増）等の6業種で、非鉄金属（79.2%減）、パルプ・紙・紙加工品（37.9%減）等の11業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、10月2.3%増の後、11月は11.2%減となった。

11月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、通信業（41.6%増）、建設業（24.6%増）等の5業種で、運輸業・郵便業（43.2%減）、金融業・保険業（33.3%減）等の7業種は減少となった。

(3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

11月の販売額は2兆2,066億円（前月比2.1%増）で、前3か月平均販売額は2兆1,331億円（同2.0%増）となり、受注残高は27兆7,270億円（同0.4%減）となった。この結果、手持月数は13.0か月となり、前月差で0.3か月減少した。

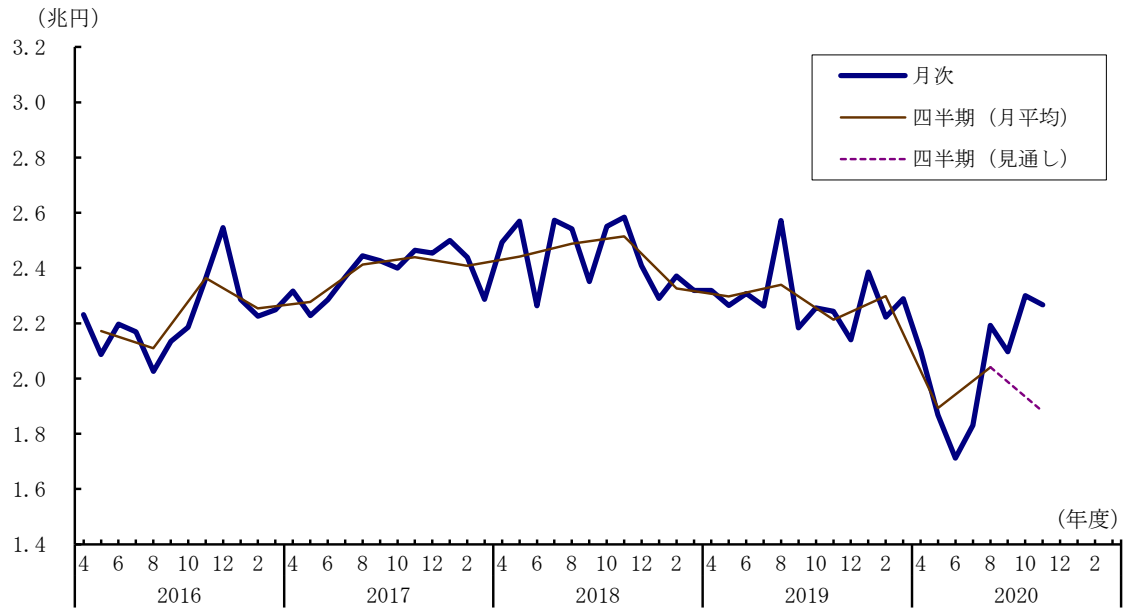
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

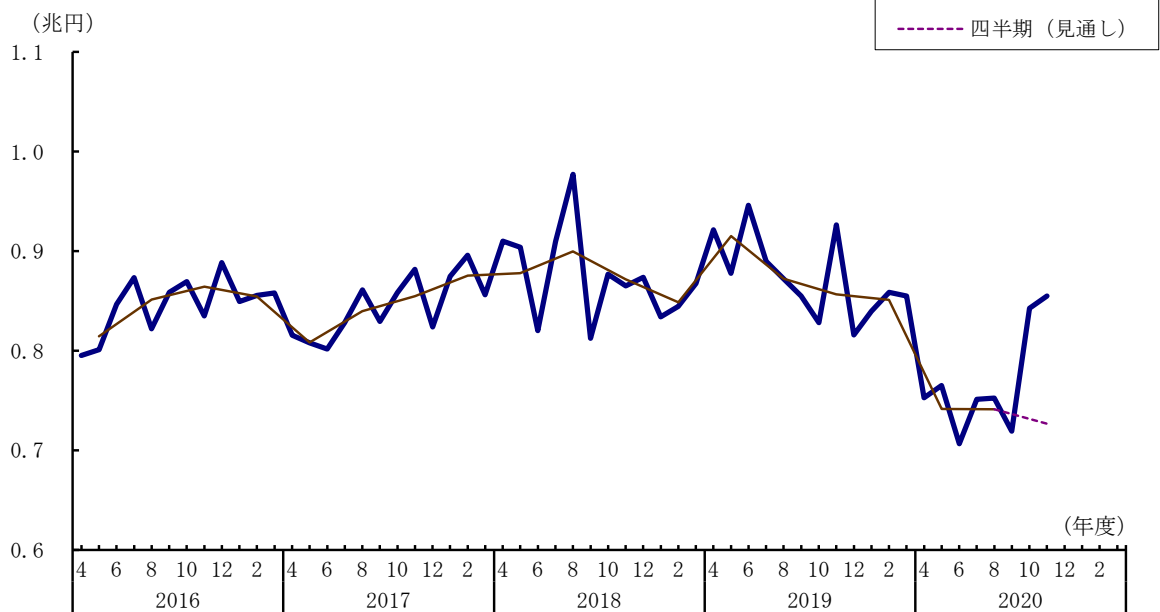
期・月 需要者	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)			2020年 (令和2年)			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	8月	9月	10月	11月
受注総額	66,390 (-5.4) [-11.9]	68,963 (3.9) [-0.7]	56,788 (-17.7) [-17.7]	61,212 (7.8) [-11.6]	21,928 (19.8) [-16.5]	20,972 (-4.4) [-1.1]	23,003 (9.7) [-0.6]	22,663 (-1.5) [-0.2]
民需	31,447 (-4.3) [3.0]	29,847 (-5.1) [-3.2]	27,347 (-8.4) [-15.5]	27,879 (1.9) [-14.9]	9,285 (-0.5) [-23.5]	9,258 (-0.3) [-7.3]	9,788 (5.7) [-3.3]	9,107 (-7.0) [-16.7]
〃 (船舶・電力を除く)	25,698 (-1.8) [-1.5]	25,526 (-0.7) [-1.0]	22,243 (-12.9) [-19.1]	22,231 (-0.1) [-14.1]	7,525 (0.2) [-15.2]	7,193 (-4.4) [-11.5]	8,425 (17.1) [2.8]	8,548 (1.5) [-11.3]
製造業	10,783 (-2.8) [-10.2]	10,972 (1.8) [-3.4]	9,148 (-16.6) [-19.9]	9,418 (3.0) [-15.0]	3,113 (-0.6) [-13.2]	3,174 (2.0) [-12.7]	3,535 (11.4) [1.1]	3,452 (-2.4) [-3.1]
非製造業 (船舶・電力を除く)	15,324 (3.6) [6.2]	14,535 (-5.1) [0.6]	13,130 (-9.7) [-18.4]	12,806 (-2.5) [-13.4]	4,123 (-6.9) [-16.6]	4,253 (3.2) [-10.7]	4,840 (13.8) [4.3]	5,109 (5.6) [-17.1]
官公需	7,265 (-10.5) [-10.8]	9,115 (25.5) [45.0]	9,339 (2.5) [8.9]	7,976 (-14.6) [6.6]	2,677 (28.3) [-19.4]	3,213 (20.0) [51.3]	2,483 (-22.7) [-4.5]	2,493 (0.4) [-2.1]
外需	24,268 (-7.9) [-25.4]	26,371 (8.7) [-8.7]	17,907 (-32.1) [-28.4]	22,987 (28.4) [-12.3]	9,190 (49.6) [-7.4]	7,655 (-16.7) [-6.4]	9,244 (20.7) [4.1]	9,785 (5.9) [25.4]
代理店	3,458 (-3.1) [-11.6]	3,581 (3.6) [-4.1]	2,972 (-17.0) [-19.6]	3,018 (1.6) [-15.4]	999 (0.5) [-18.1]	1,026 (2.7) [-13.4]	1,097 (6.9) [-6.5]	1,024 (-6.6) [-12.2]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2020年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2020年9月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。

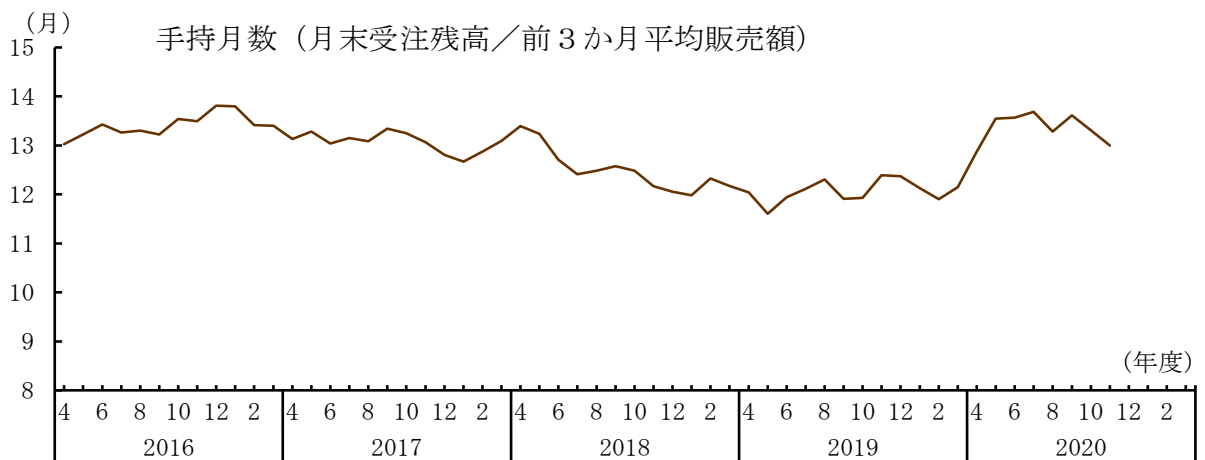
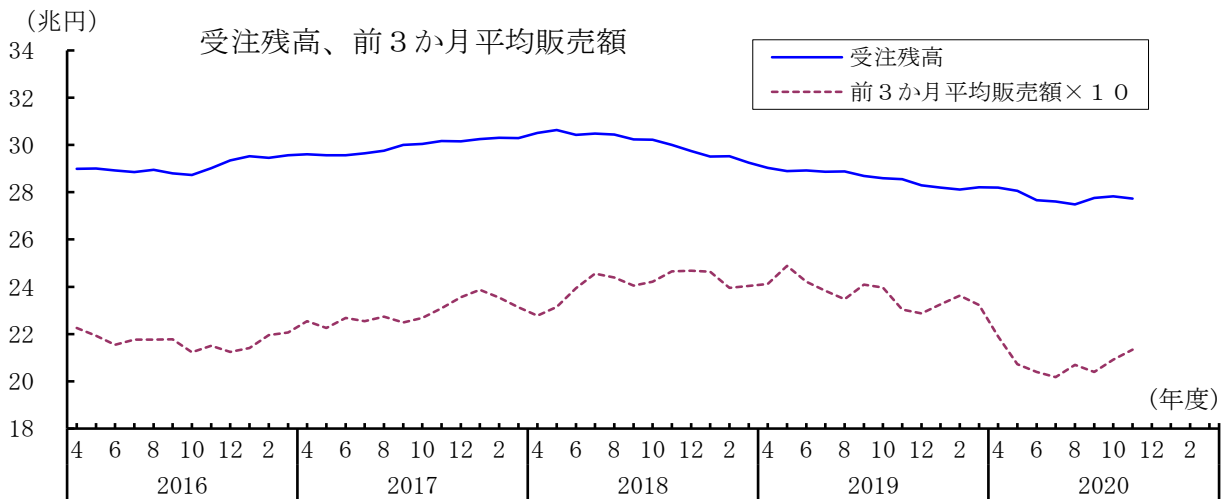
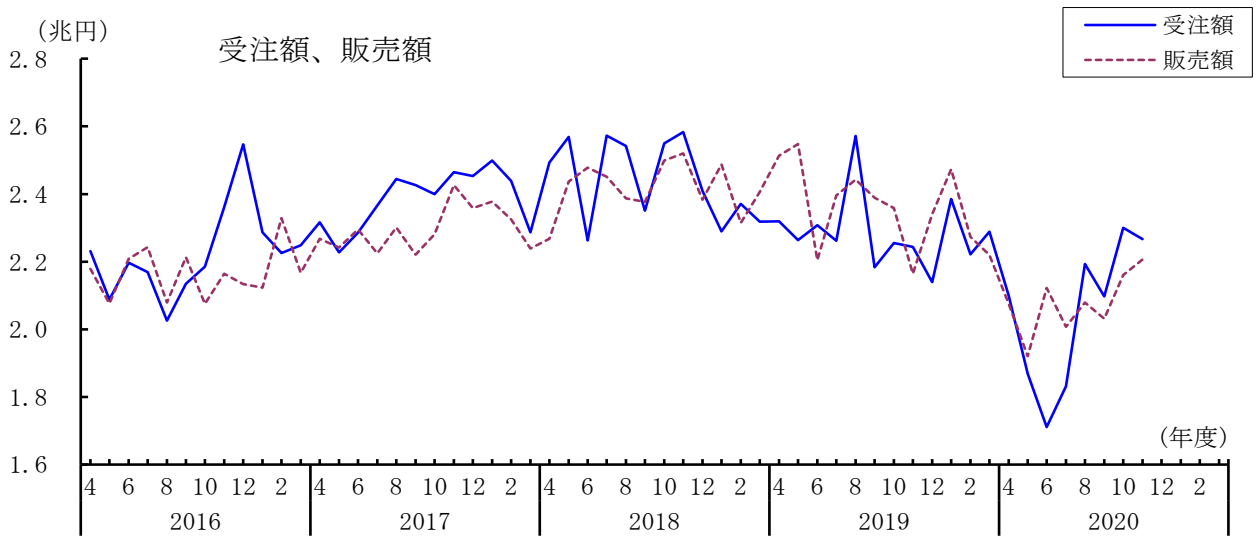
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月	2019年	2020年			2020年			
		(令和元年) 10～12月	(令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	(令和2年) 8月	9月	10月	11月
I 製造業計		-2.8	1.8	-16.6	3.0	-0.6	2.0	11.4	-2.4
1 食品製造業		-26.0	19.2	-9.3	-2.5	-30.1	178.7	-40.4	-32.9
2 繊維工業		-15.5	-11.8	-19.6	40.4	-32.6	107.0	2.9	-29.0
3 パルプ・紙・紙加工品		-3.9	51.2	-13.4	-22.2	13.0	-47.9	59.4	-37.9
4 化学工業		-12.8	15.5	0.1	-9.0	-35.3	45.3	43.0	17.5
5 石油製品・石炭製品		8.4	8.8	-25.6	62.3	65.7	-34.8	-22.2	142.4
6 窯業・土石製品		13.3	-7.6	-34.8	41.6	-20.3	-7.4	48.8	-25.6
7 鉄鋼業		-2.5	-22.0	3.3	-13.4	-32.8	-0.1	43.5	-28.6
8 非鉄金属		-27.8	59.2	-14.8	-28.3	62.4	-36.6	297.5	-79.2
9 金属製品		-11.1	-14.7	-31.2	36.5	2.6	-16.3	14.1	34.9
10 はん用・生産用機械		-4.8	-0.7	-28.7	21.9	27.2	0.1	9.0	1.0
11 業務用機械		-2.3	0.8	-1.0	1.9	-5.5	22.6	-13.6	-9.1
12 電気機械		7.2	22.1	-20.5	-4.3	1.5	6.4	-16.9	21.4
13 情報通信機械		-21.6	2.0	18.4	-23.4	20.8	-17.9	27.6	4.1
14 自動車・同付属品		0.2	-7.8	-28.4	9.6	6.6	-1.8	13.9	-9.2
15 造船業		-15.8	-6.8	22.3	2.5	-32.5	37.0	-29.4	-14.9
16 「その他輸送用機械」		40.6	5.8	-43.1	-1.0	23.4	-63.6	125.7	-20.0
17 「その他製造業」		-0.9	-12.6	-11.8	6.9	-10.8	0.5	32.7	-18.9
II 非製造業計		-2.0	-9.1	-3.2	-3.1	-8.6	12.1	2.3	-11.2
18 農林漁業		-16.7	1.0	10.1	-2.7	2.3	11.6	0.5	17.9
19 鉱業・採石業・砂利採取業		-4.1	-0.6	15.9	-6.0	-46.6	51.6	8.2	-17.0
20 建設業		-23.3	3.2	-6.0	5.6	-10.4	-0.4	-3.0	24.6
21 電力業		-21.8	-14.4	15.1	-1.2	16.0	-28.6	-33.0	7.3
22 運輸業・郵便業		22.6	-14.0	-29.8	17.5	7.0	14.5	5.1	-43.2
23 通信業		-11.6	34.7	-12.5	6.0	-10.1	45.8	-16.8	41.6
24 卸売業・小売業		-12.7	10.0	-12.8	-11.3	-7.4	17.9	54.9	-13.6
25 金融業・保険業		11.0	-21.5	14.7	-12.9	-38.1	29.4	41.2	-33.3
26 不動産業		2.9	-14.6	-20.5	28.6	-32.5	-0.9	62.6	-2.0
27 情報サービス業		-14.3	-2.9	-1.6	-4.1	11.3	-0.4	9.1	-7.3
28 リース業		-0.1	5.4	1.1	-27.7	-33.4	1.7	31.5	2.5
29 「その他非製造業」		-4.3	-5.6	-9.0	7.5	17.2	-12.6	8.4	-2.4

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

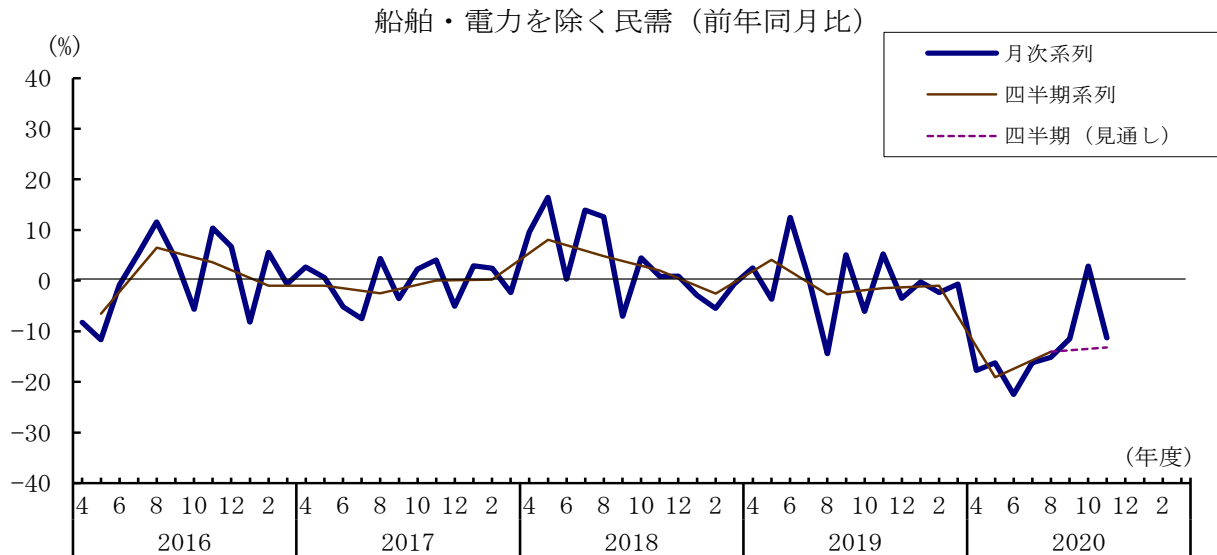
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

11月の受注総額は、1兆9,929億円で前年同月比0.2%減となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2020年10～12月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2020年9月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は8,167億円で前年同月比16.7%減（船舶・電力を除くと同11.3%減）、官公需は1,821億円で同2.1%減、外需は8,871億円で同25.4%増、また、代理店は1,070億円で同12.2%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比3.1%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品（143.0%増）、化学工業（106.4%増）等の7業種で、「その他輸送用機械」（49.0%減）、鉄鋼業（47.0%減）等の10業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比23.6%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、通信業（86.4%増）、農林漁業（30.9%増）等の6業種で、運輸業・郵便業（64.6%減）、電力業（43.5%減）等の6業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

11月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、産業機械（25.3%増）、電子・通信機械（17.3%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（84.7%減）、原動機（35.6%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比0.2%減となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（43.6%増）、産業機械（17.0%増）等で増加となった。反面、鉄道車両（88.6%減）、原動機（46.9%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比16.7%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2019年 (令和元年) 10～12月	2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	2020年 (令和2年) 8月	9月	10月	11月
民 需 総 額	3.0	-3.2	-15.5	-14.9	-23.5	-7.3	-3.3	-16.7
原 動 機	49.5	-13.0	32.0	-27.7	-38.9	-27.5	-38.0	-46.9
重 電 機	34.1	12.8	-44.1	-6.1	-33.2	21.6	-13.6	0.3
電子・通信機械	-3.6	0.8	-7.7	-11.8	-15.6	-8.7	-2.3	-0.5
産 業 機 械	-14.8	-8.5	-17.4	-10.6	-18.9	-3.9	12.5	17.0
工 作 機 械	-39.0	-29.4	-48.8	-38.0	-37.7	-32.5	-11.6	-23.0
鉄 道 車 両	240.2	42.0	-50.7	-19.5	-32.6	-21.4	-1.0	-88.6
道 路 車 両	-16.3	-2.9	-30.1	-27.9	-34.8	-25.2	56.6	-8.8
航 空 機	-30.9	-14.5	-31.1	-27.4	-9.8	-36.3	-9.9	43.6
船 舶	-18.9	-13.4	39.0	-11.1	73.7	116.8	331.7	-39.0

(2) 販売額

11月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、産業機械（11.7%増）、鉄道車両（11.6%増）等で増加となった。反面、工作機械（27.1%減）、道路車両（16.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.2%増となった。

(3) 受注残高

11月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、産業機械（3.4%増）、電子・通信機械（1.3%増）で増加となった。反面、航空機（26.7%減）、工作機械（25.4%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.9%減となった。

2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

(1) 鉄構物

11月の受注額は、285億円で前年同月比48.9%増、販売額は、251億円で同8.8%増、受注残高は、4,462億円で同8.5%増となった。

(2) 軸受

11月の受注額は、585億円で前年同月比14.3%増、販売額は、496億円で同8.9%減、受注残高は、851億円で同9.6%減となった。

(3) 電線・ケーブル

11月の受注額は、941億円で前年同月比9.1%減、販売額は、971億円で同5.6%減、受注残高は、1,367億円で同2.7%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表
目 次

[グラフ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[計 数 表]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2020年11月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----